

各 位

平成29年 2月13日

会 社 名 株式会社エム・エイチ・グループ
本社所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目11-1
代 表 者 代表取締役社長 佐藤文彦
(コード番号) 9439
問い合わせ先 経営企画室室長 家島広行
(TEL) 03-5411-7222

営業外費用及び特別損失の計上並びに平成29年6月期第2四半期累計期間の 連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、営業外費用及び特別損失の計上並びに最近の動向を踏まえ、平成28年8月16日に公表した平成29年6月期第2四半期（平成28年7月1日～平成28年12月31日）の連結業績予想値と比較して、本日公表の実績値において下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用の計上について

貸倒引当金繰入額

現在、当社グループは台湾において現地のフランチャイジーを通じてモッズ・ヘアサロンを展開しております。当第2四半期連結累計期間においてフランチャイジーのうち1社より撤退の申し入れがあり、検討の結果、当社は本申し入れを受諾いたしました。これに伴い貸倒引当金繰入額15,000千円を営業外費用として計上いたしました。なお、当社グループは台湾事業の再構築に向け新たな現地事業パートナーの選定を進めております。

2. 特別損失の計上について

関係会社株式評価損

前述の「1. 営業外費用の計上について」に記載の事由、今後の台湾での事業展開、当社の台湾の100%子会社である台湾摩法股份有限公司の事業上の位置付け等を鑑み、同社に係る関係会社株式の簿価を回収可能額まで減額し関係会社株式評価損5,775千円を計上いたしました。

3. 連結業績予想値と実績値との差異について

平成29年6月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異
(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
予想値 (A)	950	13	13	6	0.53円
実績値 (B)	945	3	△9	△24	△2.17円
増減額 (B－A)	△4	△9	△22	△30	
増減率	△0.5%	△71.4%	－	－	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年6月期第2四半期)	876	39	39	48	4.31円

差異が生じた理由

売上高につきましては、概ね予想通り推移したものの、直営サロン運営事業においてスタイリストの離職等により一時的に減少した売上高を補うには至らなかったこと等により、予想に対し4百万円減収(△0.5%)となりました。

営業利益につきましては、BSサロン運営事業において国内の契約が終了した特定のBSオーナーに対する債権の貸倒引当金繰入額5,735千円を計上いたしました。また、直営サロン運営事業においては、前事業年度においてBSサロンより直営サロンへ転換した2店舗、並びに前事業年度において新規オープンした2店舗の計4店舗の収益性は前事業年度に比べ改善しているものの、いずれも営業損失であったこと、また既存店においては前述のとおりスタイリストの離職等により一時的に収益性が低下し、特に大型店での影響が顕著であったため、これらの営業損失を補うには至らず予想に対して減益となりました。その結果、営業利益は予想に対して9百万円減益(△71.4%)となりました。

経常利益につきましては、「1. 営業外費用の計上について」に記載のとおり、台湾において現地のフランチャイジーのうち1社の撤退に伴い営業外費用として貸倒引当金繰入額15,000千円を計上いたしました。その結果、経常利益は予想に対して22百万円減益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前述いたしました営業利益及び経常利益の減少に加え、「2. 特別損失の計上について」に記載のとおり、特別損失として関係会社株式評価損5,775千円を計上いたしました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、30百万円減益となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、当初予算に組み込んでいない取り組み、また一部費用は先行して当第2四半期連結累計期間に発生していること等を踏まえ、前回公表値を据え置くものとします。

以 上